福岡市早良区野芥4-19-34 FAX092-872-1137

TEL 092-872-1136

ホームページ http://www.drnino.jp/ E-mail dr_nino@nifty.com

往くひと、来るひと、若いひと

出会いと別れの季節です。当院では、年度代わりに際して3名の非常勤医師が退職する一方、新たに常勤医師2名が加わります。去る仲間が遺してくれたものを活かし、新たな仲間と共にさらなる「スーパーチーム」を作り、"地域のかかりつけ医"としての使命を果たしていきたいと思います。

また、予てより近隣の病院から研修医を受け入れていますが、今年度はさらにその数が増え、年度内全ての月で1または2名の研修医がいることになります。他に、大学・看護学校からも、医学生・看護学生の実習受け入れの依頼を頂いています。

当院のようなクリニックが研修医や学生を指導することの重要性を、研修・実習受け入れを重ねる中で強く感じています。当院に来た研修医・学生が「在宅医療のことを正しく知る医療者」に育つことで、病院医療と在宅医療の連携はより充実し、救われる患者さんやご家族が増えるはずです。実際、最近では近隣の病院に当院の研修を経験した医師が勤務しており、患者さんを在宅医療にうまくつないでくれることや、逆に当院から紹介した患者さんを病院で診てくれたのが「あの時研修に来ていた●●先生だった!」という嬉しい連携も増えています。「在宅医療の可能性を知り、病気だけでなく

患者さんの生活を想像し支えることができる医療者」を 育成することも私たちの使命として、より一層熱を入れ て指導していきたいと思います。そして、若い医療者・ 学生にとっての一番の指導者は、患者さんです。ご指導を よろしくお願い致します。

自分より若い人と接することが年々増え、責任も重くなる一方、若者からもらうパワーの大きさも感じています。不惑を前に、笑い皺は増えても体のたるみは増えないように、笑顔を忘れず、体を鍛えて、新年度も邁進してまいります。 (院長 二ノ坂 建史)



「在宅医療、楽しい!」という感想を 語ってくれた2月度の研修医Mさん

研修医の診療について

当院では、近隣の病院(福岡記念病院・浜の町病院・白十字病院)から 初期研修医(2年目)を受け入れています。

> 外来でも、研修医が診療を担当することがあります。 (当院医師がバックアップしています)

若い医療者にとっての一番の指導者は、患者さんです。 研修医の指導・育成にご協力をお願い致します。

院長 二/坂 建史





2月27日(日)アクロス福岡(オンラインでも同時配信)



今年の在宅ホスピスフェスタは、アクロス福岡(1階円形ホール)で開催され、オンラインとの同時配信で行われました。

オープニングコンサートは山の音楽家 Shanaによるオカリナ&ギター演奏。曲は「時代、朧月夜、なごり雪、春よ来い」の全4曲で、優しい音色が心に響くとても素晴らしい演奏でした。



ミニ講座①は、「食べることを通して伝える思い~コロナ禍の在宅嚥下リハビリでわかったこと」。三丁目の花や訪問看護ステーションの言語聴覚士高村さんが、訪問言語聴覚士の役割、嚥下障害のある高齢者へ嚥下リハビリの事例等をとても分かりやすく伝えてくれました。また、コロナ禍で施設への訪問に制限がある中でも、ご家族への



配慮に気を配られていた 高村さん。食事の経口摂 取の意義やリスク管理の 話など、食に関するサポー トへの熱い思いも伝わっ てきました。 ミニ講座②は、「患者が安定、家族が安心する訪問薬剤~多職種連携のなかでの薬剤師の役割」。タカラ薬局舞の里の薬剤師渡辺さんから、訪問薬剤師が行っているサポート体制、認知症や嚥下が難しい方への服薬支援等に関するお話でした。薬剤師として患者さんへのフォローアップをとても



重要視されていて、飲み 忘れが多い患者さんや服 薬への理解が難しい患者 さんに対しても、渡辺さ んが一人ひとり丁寧に対 応されていることが伺い 知れる内容でした。

在宅ホスピス啓発事業紹介では、在宅ホスピスボランティア養成講座や研修会の様子、各地のボランティアの会の活動などが映像で写し出されました。

また、当日アクロス2階交流ギャラリーでは、在宅医療・介護に関するポスター展示や福祉用具等の紹介もありました。

ポスター展示では当院・小さなたねから 3点出展しました

- ●在宅訪問管理栄養士の取り組み
 - ~医療的ケア児の支援~
- ●レスパイト入院について
 - ~病院も在宅の応援団~
- ●コロナ禍でもたねのみんなは元気です ~医療的ケア児・者の毎日~



午後からは、在宅ホスピスを語る会。まずは「コロナ禍の中、家族とともにみんなで支えたサ高住での看取り」をテーマに、東区のサービス付高齢者住宅「ちはやふる和」からの二組のお話でした。

二組目は、認知症で高度難聴があり、難治性の皮膚炎を患っていた94歳の男性Tさんのお話。ちはやふる和の開設当初からご夫婦で入居されていました。奥さまは病気で入退院を繰り返し、病院で他界されました。その後、Tさんは新型コロナに感染し入院。入院中に経口摂取が難しくなり、リハビリをしても誤嚥や発熱を繰り返していました。病院主治医からは、経管栄養や点滴も引き抜いてしまうことが多く、施設へ戻るのは難しいとして転院を提案されていました。しかし、こどもさんたちは住み慣れた、ちはやふる和で過ごなてほしいと願い、長年のお付き合いで元気な

頃のTさんを知っているスタッフも在宅診療体制・看護・介護体制が十分にあることを主治医に伝え、退院の了解を得て、ちはやふる和に戻ってきました。職員みんなでトロミ茶の工夫をしたり、Tさんと冗談を言い合ったり、感染には気をつけてご家族にも面会してもらい、最期までみんなで声を掛け合ってTさんと一緒に過ごすことができたそうです。

三組目は、「余命告知から在宅看護を選択、家族で寄り添った6カ月」というテーマで、急性骨髄性白血病で余命2~3カ月と告知された83歳のご主人を支える奥さまからのお話でした。ボランティアとして長年セラピューティック・ケアを行ってきた経験が、ご主人のケアにも活かされ、「ケアを通じて夫の安らいだ表情を目にしたとき、施術する自分自身のケアにもなった」とお話されました。最期の時は、家族に見守られ手を握りながら静かに息を引き取られたそうです。

また、訪問看護ステーションが親身になって 対応してくれたことがとても心強かったと語 られました。





次号から紙面版"健康教室"はじめます

今年度のテーマは「糖尿病」

質問なども大歓迎です

コロナ禍での生活がスタートし、早いことに3年目に突入し、私たちの生活もなんだかこれが普通?に変わってきていませんか。 当院も定期的に行っていた健康教室やたくさんのイベントの中止が続いています。そのため、みなさんに直接お会いしてお伝えできる機会も少なくなってしまいました。

そこで新年度は、クリニックの多職種で協力しながら紙面上の健康教室をスタートしようと思います。分かりやすく楽しくを心がけていきますので、是非継続して読んでいただけたらと思います。

2022年度は『糖尿病』をテーマにどの方にも生活習慣を見直すきっかけになればと思っています。よろしくお願いいたします。

(在宅看護師 尾曲)





Event 催し物・イベントのご案内



クリニックからのお願い 💰



新型コロナウイルス感染症対策 〜発熱時の受診について〜

発熱もしくは風邪症状のある方は
 お車の中で待機していただくか
 こちらが指定した時間に
 受診していただくことで
 発熱や風邪症状のある方との接触をできる限り避けるようにしています

発熱または風邪症状のある方は まずはお電話にてご相談ください 受診できる時間や受診する方法について ご案内いたします

> にのさかクリニック **○ 092-872-1136**

症状や経過によっては、 他の医療機関へ受診をお願いする場合があります



定期の受診、その他の症状で受診される方は できるだけ12時までの受診をおすすめします

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

スタッフ募集



看護師 ・ 診療助手(PA)

地域のかかりつけ医として、外来から在宅まで一貫した診療で、患者さんに寄り添い、 その人らしく生きることをさいごまで支えるクリニックです。

どうぞお気軽にお問い合わせください。

看護師

在宅・訪問診療の経験・年齢は問いません。

診療助手(PA)

PA(Physician Assistant)とは、聞き慣れない職種かもしれませんが、在宅医療では近年注目されています。

医療職の資格・経験は不要です。診療の場、すなわち患者さんのお宅(または施設)での 医師の診療の補助や、クリニック内での物 品の準備、書類整備、他事業所への情報伝達など、患者さんのためにできることはた くさんあります。

医師でもない看護師でもない立場で、患者 さん・ご家族とのコミュニケーションをと りながら「生きることを支える」仕事です。

<お問い合わせ先> 医療法人にのさかクリニック 森重 Mail:morishige-k@drnino.jp

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	午前	外来診療			外来診療		
13:00		昼休み	健康教室	訪問診療	昼休み		
14:00	午後	訪問診療 ※外来診療		初问衫燎	訪問診療		休診
17~18:00					※外来診療		

[※] 午後5:00~6:00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療ができないことがございます。診察をご希望の方は、事前にお電話いただけると幸いです。